

「Jアラート（全国瞬時警報システム）」に対する対応

防火・防災担当

日本政府は、発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合に、24時間いつでも全国瞬時警報システム（Jアラート）を使用し、緊急情報を伝達すると発表しました。

Jアラートが使用されると、市町村の防災行政無線等が自動的に起動し、屋外スピーカーからは警報が流れ、携帯電話にはエリアメール・緊急速報メールが配信されます。しかし、弾道ミサイルは発射から極めて短時間で着弾するので、Jアラートが発動した場合には、各自で落ち着いて以下に挙げる避難行動をとるようにしてください。

【学校内】でJアラートが鳴った場合の避難行動について

① 近くのコンクリート造り等の頑丈な建物等に避難する

建物の中が一番安全なのは、ミサイルの威力が強く、その衝撃波や熱線から身を守るからです。建物内に避難したら、頭を守る対策をし、窓から離れるか、窓の無い部屋に移動すること。そして、机があれば、その下に隠れて頭をかかえて、頭を守る対策をとること。また、ミサイルが化学兵器だった場合に備えて、エアコンや換気扇を止め、外部から汚染された空気が入ってくるのを防ぐこと。

グラウンド等では、近くの建物に移動して、自分の身をしっかりと守ること。建物が無い場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守ること。

② 着弾直後は、その弾頭の種類や被害の状況が判明するまで屋内避難を継続する

近くにミサイルが落下した際に屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難すること。

③ 被害内容が判明後、避難措置の指示に沿って他の安全な地域への避難を行う

【学校外】でJアラートが鳴った場合の避難行動について

① 屋外にいる場合

近くの建物（できれば頑丈な建物が望ましいが、それ以外の建物でも構わない）の中、又は地下に避難すること。近くに建物が無い場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守ること。

② 登下校の場合の対処方法

徒歩の場合は、地下街や地下のある建物ならば地下が一番安全です。地下が無い場合には、ビルなどの建物に避難すること。化学兵器だった場合に備えて、着弾した後は風上に移動すること。バスや車は、ガソリンに引火する恐れや衝撃波等で窓ガラスが割れたりする可能性があるため危険です。バスから出られない場合は、車内で姿勢を低くして待機すること。その後、運転手や係員の指示に従うこと。

Jアラートが発令後の【教職員】の対応について

- 全校生徒に校内放送を流し、情報伝達を行う。
- 情報収集に努め、行政からの指示があればそれに従う。
- 生徒の安否を確認し、必要に応じて保護者へ安否情報の伝達等を行う。
- 必要に応じて保護者へ児童生徒等の引き渡しを行う。
- 学事課に状況報告を行う。

※ 携帯・スマホをマナーモードにしていたら、Jアラートは、原則鳴らない。
マナーモードの場合、緊急速報の音が鳴る設定にしておくこと。